

第7章 長宮遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

長宮遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の台地東側をおりた一段低い立川段丘面に立地している。この低位の段丘面には「熊の山」と呼ばれた山林を湧水源とする清水が流れ（現在は排水溝として利用）、幅100mほどの緩い小支谷を形成し、清水の北側左岸に滝遺跡、南側右岸に長宮遺跡が分布する。北東側は荒川低地の沖積地と接し、500m南側には福岡江川が流れ、標高9～10m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北300m、東西500m以上ある。宅地開発が進むが部分的に畑が残っている。

遺跡の西方には長宮氷川神社があり、この神社の縁起伝承には「長宮千軒町」として繁盛したが、戦国期に壊滅した旨が記されている。周辺の遺跡は、北側に縄文時代早・前期、古墳時代前・後期から奈良・平安

時代の遺跡である滝遺跡、南側には飛鳥・奈良・平安時代、中・近世の松山遺跡が隣接する。1977年の保育園建設に伴う緊急調査で中世の屋敷地と思われる遺構群を検出したのをはじめ、宅地造成などにより2007年11月現在69ヶ所で調査を行なっている。主たる時代と遺構は縄文時代早期後葉から前期・中期・後期前葉までの集落跡、南側の松山遺跡寄りに飛鳥時代の住居跡、中世末から近世初頭の屋敷跡や長宮氷川神社参道に関係のある溝跡などである。

II 長宮遺跡第27地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2007年4月4日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部に位置し、西側に隣接する8次調査区では中世から近



第17図 長宮遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

世の屋敷地とみられる遺構群と遺物が出土しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。試掘調査は同年5月30・31日に行なった。現地表面下約90cmにおいて時期不明の溝

を確認したが、工事による掘削は現地表面下35cmであり、30cm以上の保護層が設けられるため、工事立会いの措置をとることとし、写真撮影・構測量等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。

第15表 長宮遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された 遺構と遺物	所収 報告書
1次	長宮2-1-23	1977.10.3 ~30	1,000	保育園	溝3、土坑48、柱穴	川崎遺跡(第3次)・長宮遺跡
2次	長宮2-1-27	1978.4.25 ~5.15	235	民間宅地	溝2、土坑1、石磨臼、板碑、砥石、古銭、陶器、馬骨	埋(Ⅰ)
3次	長宮2-5-11	1978.7.24 ~30	111	民間宅地	土坑1	埋(Ⅰ)
4次	長宮1-1-14	1978.10.6 ~9	37		住居跡1、土師器、須恵器、鉄製品	埋(Ⅰ)
5次	長宮2-5-2	1979.4.16 ~20	110		縄文前期住居1、縄文土器片	埋(Ⅱ)(Ⅳ)
6次	中丸1-4-13	1980.4.21 ~30	515		遺構なし、中世以降陶器片	埋(Ⅲ)
7次	中丸1-3-6	1980.5.13 ~31	869		溝、井戸跡、縄文土器、中世以降陶器片	埋(Ⅲ)
8次	長宮2-1-10~13	1980.9.8 ~10.8	1,900	宅地造成	中世溝、井戸、土坑、板碑、砥石、陶磁器、古銭、馬骨	遺調1集
9次	長宮1-4-10	1980.9.21 ~30	200		遺構なし、中世以降陶器片	埋(Ⅲ)
10次	長宮2-3-4	1980.12.5 ~15	485		溝、土坑他、縄文前期土器・石器、中世以降古銭、陶器	埋(Ⅲ)
11次	長宮2-2-10	1980.12.16 ~22	117		溝、縄文土器片、中世以降陶器	埋(Ⅲ)
12次	長宮1-2-7	1981.5.26 ~30	160	個人住宅	溝1、中世陶器片、縄文土器片	埋(Ⅳ)
13次	長宮1-2-13	1981.6.3 ~11	251	個人住宅	遺構なし、中世陶器片	埋(Ⅳ)
1982試	長宮1-2-12	(?)	1,000	歴史民俗資料館	溝2	57年教59年度報告?
14次	長宮2-2-1	1985.9.24 ~27	156	個人住宅	溝1	埋(Ⅷ)
15次	西原2-5-8	1985.10.22 ~31	116	個人住宅	なし	埋(Ⅷ)
1985試	長宮1-2-11	(1986.3.6 ~15)	400	学童保育	溝2	60年教
16次	長宮1-4-7	1986.6.9 ~17	173	個人住宅	縄文土器片	埋(Ⅸ)
17次	中丸1-3-11	1987.6.19 ~30	504	個人住宅	縄文前期土器散布	埋(X)
1988試	長宮1-3-8	(1988.9.13 ~16)	657	住宅建設	なし	埋(11)
1989試(1)	長宮1-3-9	(9.20~30)	448	住宅建設	なし	埋(12)
1989試(2)	長宮2-5-19	(1989.11.14 ~24)	1,778	住宅建設	なし	埋(12)
1990試	長宮2-5-4	(1990.11.27 ~30)	919	共同住宅	なし	埋(13)
18次	長宮2-5-3	1992.10.6 ~12.2	925	共同住宅	縄文住居跡1、中近世土坑2、溝5	埋(15)
19次	長宮1-2-21,35	1993.12.17 ~1.22	467	駐車場	古墳末期住居跡1	埋(15)
1993試	長宮2-4-2の一部	(1994.2.10 ~28)	1,502	共同住宅	溝2、土坑1、中世後期板碑	5年教
1994試	西原2-5-1	(1994.7.25 ~8.2)	314	心身障害者デイケア施設	断面函形溝1	埋(17)
20次	長宮2-1-22の一部	1995.4.10 ~5.9	170	個人住宅	中近世溝4	埋(18)
21次	長宮2-1-63,65	(1995.6.19 ~8.8)	361	個人住宅	中近世溝1、井戸7	埋(18)
1995試(1)	長宮2-1-20外	(1995.8.9 ~28)	421	市道敷設	なし	埋(18)
1995試(2)	上ノ原3-1-6外4筆	(1995.10.4 ~12)	1,528	共同住宅	溝1	埋(18)
1995試(3)	長宮2-1-60	(1995.10.23 ~25)	269	駐車場	中近世溝1、井戸4	埋(18)
22次	長宮2-1-60	1995.10.27 ~11.9	269	駐車場	中近世井戸跡4、溝1、陶器、板碑破片、かわらけ	遺調6集
1995試(4)	長宮1-3-13	(1995.12.12 ~25)	120	駐車場	なし	埋(18)
1996試(1)	長宮1-2-16	(1996.7.12 ~18)	349	宅地造成	なし	埋(19)
1996試(2)	中丸2-2-9他3筆	(1996.11.7)	568	宅地造成	なし	埋(19)
1996試(3)	長宮1-2-4	(1997.1.14 ~21)	794	共同住宅	古墳~奈良住居1	埋(19)
1996試(4)	長宮2-2-4	(1997.2.24)	205	社務所改築	なし	8年教
1997試(1)	長宮2-3-3	(1997.4.8 ~9)	611	農地天地返し	溝1(時期不明)	埋(20)
1997試(2)	長宮2-1-2	(1997.4.9 ~11)	289	個人住宅	土坑1(時期不明)	埋(20)
1997試(3)	長宮1-2-36,37	(1997.6.4 ~5)	423	駐車場	溝1	埋(20)
1997試(4)	西原2-5-6	(1997.8.15 ~21)	753	駐車場	中近世堅穴状遺構1	埋(20)
1998試	中丸1-2-4	(1998.11.24 ~27)	1,014	宅地造成	なし	埋(21)
1999試	中丸1-3-12	(1999.11.8 ~16)	98	個人住宅	溝1、縄文前期集石2	埋(22)
2000試(1)	中丸1-4-7	(2000.7.4 ~11)	932	宅地造成(土地分譲)	縄文前期(関山期)住居跡5、土坑13	埋(23)
2000試(2)	西原2-4-8,10	(2000.7.17 ~24)	1,081	宅地造成(土地分譲)	なし	埋(23)
2000試(3)	長宮2-1-17	(2000.8.21 ~23)	687	共同住宅	なし	埋(23)
2000試(4)	長宮1-3-3A,4A	(2001.1.17 ~23)	1,119	宅地造成(土地分譲)	近世以降土坑1	埋(23)
23次	中丸1-4-7	2001.7.18 ~26	137	個人住宅	土坑6(縄文早期後葉1、縄文前期4、近世以降1)	埋(24)
2001試(1)	長宮2-1-3	(2001.4.20 ~24)	330	個人住宅	なし	埋(24)
2001試(2)	西原2-4-7	(2001.5.25)	634	共同住宅	なし	埋(24)
2001試(3)	中丸1-1-3	(2001.8.7 ~24)	513	共同住宅	道路状遺構1、縄文前期土坑1	埋(24)
2001試(4)	長宮2-8-6	(2001.11.6)	130	個人住宅	なし	13年教
2002試(1)	長宮1-3-2~5	(2002.6.5 ~11)	3,536	宅地造成(土地分譲)	住居跡2【盛土保存】	埋(25)
2002試(2)	長宮1-4-3	(2002.6.20 ~7.2)	575	確認調査	住居跡2、溝2	埋(25)
2002試(3)	中丸1-1-5	(2002.9.3 ~11)	622	宅地造成(土地分譲)	道路状遺構1	埋(25)
2002試(4)	長宮1-3-31	(2002.9.20 ~25)	362	地区計画道路	溝1	埋(25)
24次	長宮1-4-3	2003.1.30 ~2.14	72	個人住宅	住居跡2	14年教
2002試(5)	長宮2-5-6	(2003.3.10 ~12)	827	宅地造成	住居跡1【盛土保存】	14年教
2003試(1)	長宮2-5-30,32	(2003.9.16)	197	区画道路	なし	埋(26)
2003試(2)	長宮2-4-7	(2003.12.16 ~18)	1,123	宅地造成	井戸跡1	埋(26)
2004試(1)	中丸1-1-11	(2004.11.26)	488	宅地造成	なし	埋(27)
2004試(2)	長宮1-2-15	(2004.12.7 ~9)	466	農地改良	なし	埋(27)
25	中丸1-4-8	(2007.2.15 ~16)	1,161	個人住宅	縄文遺構検出	市内3
26	西原2-5-2の一部	(2007.3.28)	594	個人住宅		市内3
27	長宮2-1-4	(2007.5.30 ~31)	175	個人住宅		市内4
28	長宮2-1-8	(2007.5.31~6.5) 2007.6.6~22	188	個人住宅		市内4
工事立会い	西原2-5-31	2007.10.15	120	個人住宅	保護層有り、遺構遺物なし	市内4
29	長宮2-4-6の一部	(2007.11.20 ~12.5)	618	共同住宅		市内4

*埋=埋蔵文化財の調査、遺調=遺跡調査会報告書、教=教育要覧、市内=市内遺跡群

Ⅲ 長宮遺跡第28地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2007年5月24日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部に位置し、西側に隣接する8次調査区では中世から近世の遺構群と遺物が出土しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。試掘調査は同年5月31日から6月5日まで行なった。残土置き場の関係から調査区を南北に分け、初めに北側半分を重機による表土除去後、人力による表面精査を行なった。北側調査区の試掘調査で、井戸・土坑・ピットなどの遺構が確認されたため、申請者と協議の結果、本調査を行なうこととした。

本調査は翌日6月6日から22日まで、調査区を南北に分けて行ない、井戸5基、土坑10基、ピット13基を検出、陶磁器などの遺物多数が出土した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、本調査を終了した。

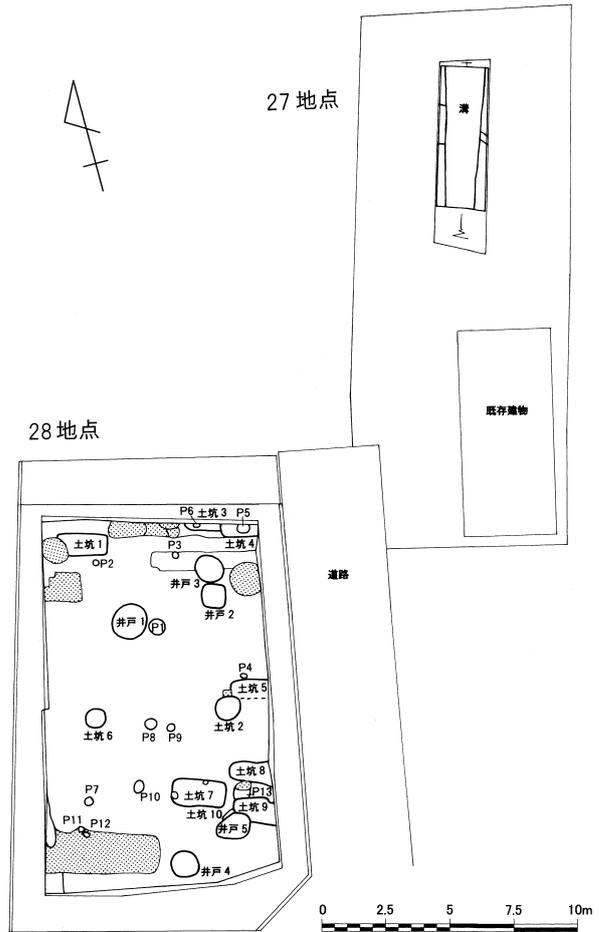
(2) 遺構と遺物

①土坑・ピット

土坑10基、ピット13基を検出したが、土層の観察から全て中・近世以降の時期とみられる。

第16表 長宮遺跡第28地点土坑・ピット一覧表 (単位cm)

遺構名	平面形態	確認面径	底径	深さ
土坑1	長方形	(203)×89	(152)×64	87.3
土坑2	円形	103×88	30×30	64.6
土坑3	不明	(150×25)	(96×17)	19.6
土坑4	不明	(137×46)	(128×40)	48
土坑5	不明	(146×92)	(130×93)	14.1
土坑6	円形	87×76	65×63	21.3
土坑7	長方形	214×111	186×86	22.5
土坑8	長方形	(166)×87	(158)×75	16.7
土坑9	長方形	(168)×102	(156)×87	24.2
土坑10	不明	68×(18)	65×(8)	22.0
P1	円形	58×56	36×33	62.4
P2	円形	23×17	8×4	56
P3	楕円形	(27)×20	9×6	45.8
P4	楕円形	31×20	10×2	47.7
P5	不明	49×(30)	(19)×33	42.2
P6	不明	(18)×25	12×9	44.8
P7	方形	38×35	26×24	28.8
P8	円形	51×46	35×21	26
P9	円形	28×26	17×5	31.8
P10	楕円形	58×35	25×20	34.8
P11	円形	(24)×20	11×7	32.5
P12	円形	25×23	14×7	21.9
P13	不明	58×(-)	45×(-)	13.7



第18図 長宮遺跡第27・28地点遺構配置図 (1/300)

②井戸

井戸は5基検出し、全て素掘りである。井戸1・2には足掛け穴があり、井戸5は上部が舌状に開く。

第17表 長宮遺跡第28地点井戸一覧表 (単位cm)

遺構名	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
井戸1	円形	145×132	55×40	175	足掛け穴2
井戸2	円形	98×95	58×55	157	足掛け穴4
井戸3	円形	120×100	59×58	140	
井戸4	円形	108×103	53×52	124	
井戸5	不整形	134×103	40×40	109	舌状に開く

③出土遺物

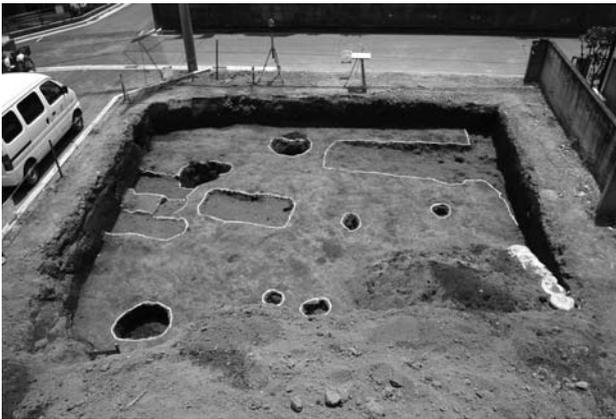
井戸1・3からややまとまった遺物が出土している。近世以降の陶磁器などが含まれないことから、15世紀後半以降の時期と考えられる。その他は遺構外出土のもので、第18表長宮遺跡第28地点出土遺物観察表のとおりである。



長宮遺跡第27地点試掘調査近景



長宮遺跡第27地点試掘調査全景



長宮遺跡第28地点本調査南側全景



長宮遺跡第28地点土坑1



長宮遺跡第28地点土坑2・7～10、井戸5、ピット8・9・13



長宮遺跡第28地点土坑7～10、井戸4・5、ピット13



長宮遺跡第28地点土坑8～10、ピット13



長宮遺跡第28地点本調査北側全景